

# 令和5年度定時評議員会

日時：令和5年5月31日（水）14時30分～

場所：大分県教育会館 多目的ホール

出席者 (49名)	行村 豊喜	河野 義樹	竹丸由香里	五所 睦雄	結城 順史
	高橋 伸介	軸丸 秀樹	今村 泰三	奥村 正二	大塚 正士
	島村 浩信	姫野 雅道	大平 雅哉	佐藤 公隆	米津 康広
	水之江 浩	波津久郁生	矢田 哲司	森 留雄	大石 祥一
	升巴 正博	安部 定文	佐藤慎二郎	安藤 和宏	原 勇人
	三宅 文子	三澤 博文	宮本 達美	戸高 元貴	吉田 友春
	矢津田博明	渡邊真由美	得丸 清	高橋 和孝	千鳥 安雄
	八坂 一範	東 海斗	檜原 靖昭	藤原 直也	川辺宏一郎
	川野 明寿	植田 克己	後藤 方彦	衛藤 朗	角田 茂樹
	清原 俊樹	小島 安国	村田 浩一	志賀 一哉	

欠席者 (18名)	堤 聖一	石川 義隆	安東 英児	高野 初雄	山田 昌信
	高山英一郎	藤本 学	大田 和代	高柳 優子	伊藤 進
	園田 隆洋	鶴崎 清貴	秋吉 常博	久保 芳久	佐藤 寿幸
	園田 啓助	北崎 匡	塚崎 一孝		

議事録作成者 専務理事 佐保宏二

資格確認 押田総務部長が出席者49名で、定数の過半数の出席であることから、本会定款第22条により本会が成立することを報告した。

## 1 開会のことば

押田総務部長が開会のあいさつを述べた。

## 2 あいさつ

佐保専務理事があいさつを述べた。以下あいさつ文。

専務理事の佐保でございます。本来であれば麻生会長が御挨拶申し上げるところですが、所用により出席が叶いませんので、代わりまして一言御挨拶を申し上げます。

本日、評議員の皆様には、御多用な中、定時評議員会に御出席いただき、感謝申し上げます。また、平素から、本会の諸事業の推進並びに本県のスポーツ振興に格別の御支援・御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、令和5年度になって早くも2ヶ月が経とうとしております。新型コロナも、5月8日から5類に移行し、日常のスポーツ活動はもとより、各種大会も、ほぼコロナ前と同じ状況で開催されております。

こうした中、今週末には、第71回大分県高等学校総合体育大会が開催されます。高校生の熱い戦いが期待されますし、その力を九州大会やインターハイ、そして鹿児島国体で大いに発揮してほしいと願っているところでございます。

また、第43回九州ブロック大会につきましては、5月28日に犬飼リバーパークで開催された、カヌー競技スラローム・ワイルドウォーターを皮切りに、いよいよスタートいたしました。8年ぶりの地元開催ということで、各競技団体の皆様には大変御苦勞をおかけいたしますが、安心・安全な大会運営に何卒お力添えをお願いいたします。

その他、本会では、本年度も「スポーツ少年団」や「総合型地域スポーツクラブ」の活動の充実など、幅広い世代を対象としたスポーツ振興にも取り組んで参りますので、こちらにつきましても、引き続き、御支援と御協力をお願いします。

本日は、令和4年度事業報告及び収支決算について御審議いただくこととなっております。限られた時間ではございますが、皆様方には十分な御審議をいただきますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 3 議長選出

本会評議員会規程第3条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員互選により選任する。」に従い、押田総務部長が議場へ諮ったところ、事務局に一任するとの声が挙がった。そのため事務局案を宮成事務局長が以下のとおり提案し、全会一致で承認された。

大分市スポーツ協会事務局員 八坂 一範 氏

評議員会議事録の署名については、本会定款第23条第2項に「議長は議事録に記名押印する」と明記されている旨を伝えた。

《八坂氏よりあいさつをいただいた》

《以下、八坂議長による進行》

### 4 報告事項

以下の報告事項について、宮成事務局長より説明がなされた。

- (1) 令和5年・6年度代表理事・業務執行理事について
- (2) 令和5年・6年度各専門委員会委員について
- (3) 令和5年度事業報告（令和5年4月1日～5月26日）
- (4) 第43回九州ブロック大会夏季大会成績について
- (5) 各種大会成績について

#### 【(1) 令和5年・6年度代表理事・業務執行理事について】

レジュメの3ページ、4ページを御覧ください。今年度は、役員改選期で、新たな役員につきましても、5月17日に開催された臨時評議員会で御承認いただいたところがございます。その後開催された、第1回理事会において、令和5年・6年度の会長、副会長、専務理事、常務理事が承認されましたので、御報告いたします。

会 長 麻生 益直（八鹿酒造株式会社代表取締役社長）  
副会長 岡本天津男（県教育長）  
副会長 栗田 泰司（日本製鉄株式会社九州製鉄所執行役員副所長（大分地区代表））  
副会長 相馬 尊重（由布市長）  
専務理事 佐保 宏二（県教育庁体育保健課長）  
常務理事 宮成 康蔵（県スポーツ協会事務局長）

以上でございます。

次に、代表理事・業務執行理事でございますが、定款第24条3項には、「会長及び副会長の内の1名以内を代表理事とし、専務理事及び常務理事を法人法上の業務執行理事とす

る。」とありますことから、代表理事には、麻生益直会長と岡本天津男副会長を、業務執行理事には、佐佐宏二専務理事と宮成康蔵常務理事が選任されました。

なお、麻生会長の委嘱により、名誉会長を広瀬勝貞氏、参与を杉本健一県ゴルフ協会会長に継続いただくことになったことも御報告いたします。

《八坂議長が、上記の件について議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

### 【(2) 令和5年・6年度各専門委員会委員について】

レジュメ5ページをお開きください。報告事項(2)各専門委員会委員について御報告いたします。

本会定款第40条に、各専門委員会には、委員長を置き、会長が委嘱するとございます。

まず、5ページの財務委員会でございます。財務委員会は、公益目的事業を達成するために必要な資金を調達することを目的とした委員会でございます。本会麻生会長から、新たな委員長として、本会副会長の、栗田泰司日本製鉄株式会社九州製鉄所執行役員副所長(大分地区代表)が、併せて記載の委員15名も委嘱されました。御覧の通り、経済団体や各種団体の会長などに御就任いただいております。詳細については後刻御覧ください。

次に6ページを御覧ください。県の代表となる優秀選手の育成等を目的とした競技力向上委員会でございます。本会麻生会長から、委員長として、本会副会長の、岡本天津男県教育長が、併せて記載の委員26名も委嘱されました。委員には、「本会役員から指定された委員」、「委員長が指定した指定委員」、「競技団体を代表した委員」、「強化校に指定されている高等学校からの委員」、また「強化企業及び団体を代表しての委員」となっております。詳細については御覧ください。

レジュメ7ページをお開きください。スポーツ医科学委員会でございます。スポーツ医科学委員会は、エビデンスを活用し、県民スポーツの振興・競技力向上に寄与することを目的とした委員会でございます。本会麻生会長から、委員長として、本会理事の大場俊二大分県スポーツドクター協議会会長が、併せて記載の委員8名も委嘱されました。委員には、医療職能団体やスポーツ医科学関係団体等の会長や副会長、理事の方々に御就任いただいております。詳細については後刻御覧ください。

レジュメ8ページを御覧ください。大分県スポーツ少年団役員でございます。スポーツ少年団委員総会で推挙された記載の皆様について、本会麻生会長から、本部長及び副本部長を委嘱いたしました。本部長は、牧和志本会理事を、副本部長は、久々宮克也佐伯市教育委員会教育部長、学識経験者として、竹内進県スポーツ少年団指導者協議会会長、村田潤大分市企画部次長兼スポーツ振興課長、吉野賢一郎県教育庁体育保健課体育・スポーツ振興監、和田秀幸県小学校体育研究会会長の大分市立桃園小学校校長でございます。常任委員につきましては、牧本部長が委嘱した13名を記載しております。詳細については御覧ください。

各専門委員会委員については以上でございます。

《八坂議長が、上記の件について議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

### 【(3) 令和5年度事業報告(令和5年4月1日～5月26日)】

レジュメ9ページ、10ページを御覧ください。令和5年度の4月1日～5月26日まで実施した事業報告をいたします。

No.1、4月12日に第1回九州地区スポーツ協会連絡協議会を開催しました。九州8

県の持ち回り開催でございますが、今年度は本県開催でございました。No. 2、4月14日に本会加盟団体の加盟競技団体事務局長会議を、No. 3、4月18日に「令和5年度強化指定委嘱状交付式」を開催いたしました。

スポーツ少年団関係事業については、No. 5の九州ブロックスポーツ少年団連絡協議会をはじめ、No. 7、10、11、13、18、19に記載の通りでございます。

次にNo. 16、5月17日に臨時評議委員会を、No. 17、同日に第1回理事会を開催いたしました。

レジュメ10ページ下段のNo. 20、21には、総合型地域スポーツクラブ関係事業を記載しております。

その他の事業については、後刻御確認ください。以上でございます。

《八坂議長が、上記の件について議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

#### 【(4) 第43回九州ブロック大会夏季大会成績について】

レジュメの11ページをお開きください。5月28日に、特別国民体育大会の九州予選となる、第43回九州ブロック大会夏季大会のカヌー競技スラローム・ワイルドウォーターが、本県豊後大野市で実施されました。本県からは、成年男子・成年女子に計5名が出場し、成年男子スラロームK-1の河津選手が第2位で代表権獲得、また、成年女子スラロームK-1の越智選手が、第1位で代表権を獲得し、10月に開催されます鹿児島特別国民体育大会への出場権を得ました。

その他の成績については、記載のとおりでございます。

《八坂議長が、上記の件について議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

#### 【(5) 各種大会成績について】

次に、(5) 各種大会成績について説明いたします。

12ページから14ページにかけては、3月11日から5月21日の間、本県関係者の全国大会と国際大会ベスト8以上について報告するものです。なお対象は中高生及び社会人となっています。本日は、優勝した選手について御紹介いたします。

12ページ上段、水泳の第99回日本選手権水泳競技大会で、TOYOTA所属の渡辺一平選手が、男子100mと200m平泳ぎにおきまして優勝いたしました。なお、同大会で2種目優勝は、渡辺選手にとっても初の快挙となります。また、その後も、ヨーロッパグランプリのカネ大会、バルセロナ大会、モナコ大会において、いずれも200m平泳ぎで優勝する快挙を成し遂げています。

次に13ページをお開きください。上段のウエイトリフティング、第19回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会において、九州国際大学所属の麻生樹選手が、男子109kg級で優勝、同じくウエイトリフティング、第83回全日本選手権大会で、株式会社ビックサン所属の、野中雅浩選手が優勝しました。野中選手は高校、大学でも日本一に輝いており、今回は社会人として初優勝でございます。これで高校、大学、社会人と各世代の日本一を全て獲得する快挙でございました。

14ページ上段、柔道でございます。第38回皇后盃全日本女子柔道選手権大会で、ALSOK所属の梅木真美選手が、優勝しました。梅木選手はこれまで体重別選手権での優勝はございましたが、今回は体重無差別で争う大会での初優勝となりました。

次にライフル射撃、第49回全日本ライフル射撃競技選手権大会において、大分市役所所属の磯部直樹選手が、男子3姿勢60発と、男子伏射60発で優勝、また全日本ライフル射撃競技選手権大会において、明治大学所属の野畑美咲選手が、女子10mエアライフル60発、混合10mエアライフル24発で優勝いたしました。

その他の成績につきましては、後刻御覧ください。各種大会の成績につきましては以上でございます。

《八坂議長が、上記の件について議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

## 5 議事

以下の議案について宮成事務局長より、説明がなされた。

議案1 令和4年度事業報告及び収支決算について

議案2 役員等推薦委員会委員について

### 【議案1 令和4年度事業報告及び収支決算について】

レジュメ15ページを御覧ください。

この事業報告及び収支決算については、定款第11条で、「この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後2箇月以内に、監事の監査を受け、理事会の承認を経て定時評議員会に提出し、書類についてはその内容を報告し、承認を受けなければならない」と定められています。

ただ今から説明する、令和4年度事業報告（案）及び収支決算（案）については、監事の監査を受け、第1回理事会において承認を得ていることを、まずは御報告いたします。

それでは、レジュメ15ページから25ページの事業報告から、説明いたします。報告につきましては、内容が多いため抜粋して報告させていただきます。

レジュメ15ページの上段、理事会・評議員会でございます。令和4年度は、定款に定められています評議員選定委員会、役員等推薦委員会、臨時評議員会、定例の理事会、定時評議員会等を、資料記載の日程により開催し、本会の役員の変更や運営に関わる事項を御審議いただきました。また表彰制度の見直しに関する検討委員会も実施いたしました。

次に16ページ記載の、3の国民体育大会及び九州ブロック大会関係でございます。まず①の九州ブロック大会は、熊本県を主会場に開催されました。本県選手団は32競技に723名の選手監督が出場し、51の代表権を獲得いたしました。

次に②国民体育大会です。番号26、第77回国民体育大会は、栃木県で開催され、本部役員20名、監督選手439名が出場いたしました。結果は目標であった天皇杯得点1000点に、あと11点及ばず989点でございましたが、過去10大会では最高得点を獲得することができました。本当にありがとうございました。

17ページをお開きください。番号35、第77回国民体育大会代表団反省会兼チーム大分国体監督研修会を実施いたしました。反省会では国体結果の分析を、各強化責任者と情報共有いたしました。研修会では著名なメンタルコーチである株式会社コラゾンの荒木香織氏にご講演いただき指導者の資質向上を図りました。

17ページ下段には、本会関係専門委員会であります競技向上関係を記載しております。番号41、令和4年度競技力向上委員会を開催し令和5年度基本方針等を協議しました。

18ページを御覧ください。スポーツ医科学関係でございます。番号42から19ページの番号61に記載の通り、医科学を活用した競技力の向上に向けて、各種事業に取り組みました。併せて、19ページの番号62から20ページ番号73まで、スポーツ医科学

研修講座を年間12回開催いたしました。

20ページ、番号74から22ページ番号106までは、スポーツ少年団関係でございます。資料記載のとおり大変多くの諸会議、研修会、大会等を実施いたしました。

中でも、番号104、第54回スポーツ少年団九州ブロックスポーツ少年大会を本県で開催いたしました。3年ぶりの開催となり、九州各県スポーツ少年団員44名が参加し、スポーツ体験を通して交流を図りました。引き続き、スポーツ少年団関係事業は、関係機関と連携して活性化に繋がる取組を続けたいと考えております。

22ページ下段の、番号107から23ページ番号120までは、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会関係でございます。23ページ番号116、12月に大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を設立し総会を開催いたしました。この協議会は、第2期スポーツ基本計画に基づき、総合型地域スポーツクラブの登録認証制度を扱い、活動・運営実態、ガバナンス等についての在り方を示していく協議会でございます。

24ページ、番号122、令和4年度ガバナンス研修会を開催し、加盟団体関係者70名出席のもと、追手門学院大学の上田滋夢教授にスポーツにおけるガバナンスについて御講演いただきました。

番号124、125は、日本スポーツ協会委託業務の公認スポーツ指導者資格更新研修となる大分県スポーツ指導者研修会を開催しました。

その他、表彰関係、広報事業等につきましては、後刻御覧ください。事業報告は以上でございます。

次に、令和4年度収支決算につきまして御説明いたします。26ページから40ページが収支決算資料でございますが、かなりの量になりますので、26ページに挟んでおりますA3縦の資料により御説明させていただきます。

まず、本会の会計は、大分県スポーツ振興事業、スポーツ少年団事業、スポーツ普及・表彰事業の3つの事業からなる公益法人会計と、事務局運営に係る法人会計の合計4つに分かれておりますが、全ての会計をこの概要版でまとめております。表の左側に、行数を記しております。表の見方は、2行目、経常収益がいわゆる収入の部です。43行目、経常費用からが支出の部、収支の差額が70行目の当期経常増減額計であります。また、一番下の76行目、ローマ数字Ⅲの正味財産期末残高は、本会の財産残高を示しています。

それでは、前年度の決算額に対して増減が大きいものなど、主な項目について説明いたします。

まず、経常収益です。12行目、総合型地域スポーツクラブ登録料ですが、決算額は12万円でございます。これは、昨年度スタートした登録制度に伴う増でございます。15行目、受取負担金でございますが、決算額は173万4千900円で、前年度比105万2千300円の増でございます。前年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業中止等がございましたが、令和4年度は、計画した収益事業が実施できたことによる増額でございます。24行目、受取補助金等でございますが、決算額は2億6千612万6932円で、前年度比1億4千607万8878円の増でございます。これは国民体育大会が3年ぶりに開催されたことによる受取補助金の増額によるものです。特に、27行目の国民体育大会参加費、28行目の国民体育大会PCR検査費の増額によるものでございます。35行目、指定正味財産からの振替額ですが、決算額は97万8千383円でございます。これは、国民体育大会優勝者を対象とした工藤秀明奨励賞の開催に伴うものでございます。42行目、経常収益計は2億9千954万5千572円となり、前年度比1億4千827万511円の増でございます。

次に、経常費用でございます。まず、44行目の大分県スポーツ振興事業です。決算額2億5千215万9千103円で、前年度比1億4千287万1千791円の増でございます。これは先ほど説明した国民体育大会開催に伴う費用増によるものです。49行目、大分県スポーツ少年団事業の決算額は、654万4千192円で、前年度比397万2千599

万円の増でございます。令和4年度はコロナウイルス感染症による事業中止や縮小がなく、事業実施に伴う増でございます。55行目、大分県スポーツ普及・表彰事業の決算額は、490万8千476円で前年度比318万3千537円の増でございます。これは56行目の日本スポーツ協会委託事業費、60行目の表彰費の増によるものでございます。63行目、法人会計管理費の決算額は、686万589円で、前年度比21万1千302円の増でございます。64行目、経常費用計の決算額は2億9千991万3千362円となり、前年度比1億5千217万5千190円の増となりました。

次に、70行目、当期経常増減額計でございますが、36万7千790円の赤字でございます。これは令和3年度までの間、新型コロナウイルス等の影響により、各種大会の中止、リモート会議による旅費交通費の減、等で支出が減ったこともあり、余剰金が発生しております。公益法人は、収支相償を行う必要があることから、赤字での決算となったことによるものでございます。

最後に76行目、ローマ数字Ⅲの正味財産期末残高は、4千334万2千433円でございます。なお、本評議員会の承認が必要となる、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表に関する注記、附属明細書、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書内訳表、財産目録内訳表については、27ページから40ページにお示しをしております。後刻御覧ください。

最後に、監査報告については、41ページを御覧ください。本日、監事は出席しておりませんので、この誌面をもって、監査報告とさせていただきます。

令和4年度事業報告（案）及び収支決算（案）の説明は以上でございます。御審議宜しくお願いいたします。

《八坂議長が、上記の件について議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《八坂議長が、上記の件について承認を議場に諮った》

《全会一致で承認された》

#### 【議案2 役員等推薦委員会委員について】

それでは、役員等推薦委員会委員について説明いたします。

レジュメ42ページを御覧ください。まず、下段記載の本会の役員等推薦委員会規則を御覧ください。第3条「推薦委員会は、会長を除く、副会長1名、専務理事1名、常務理事1名、監事1名、評議員5名の9名により構成する。」第3条2項「推薦委員会の委員長は、副会長が就任する。」とございます。

本年度は評議員、役員とも改選期ですので、副会長から委員長1名、監事から1名、評議員から5名の委員を選任する必要があります。なお、専務理事と常務理事につきましては、第1回理事会において既に承認されています、佐保宏二専務理事と宮成康蔵常務理事を新たな役員等推薦委員会委員として明記しております。以上でございます。

《八坂議長が、上記のことについて、事務局案を求めた》

《以下、宮成事務局長より、事務局案の提案がなされた》

それでは事務局案を提案させていただきます。既に就任が決まっています、専務理事、常務理事区分も含め、案の名簿の読み上げをもちまして、提案とさせていただきます。

副会長区分、岡本天津男（県教育長）  
専務理事区分、佐保 宏二（県教育庁体育保健課長）  
常務理事区分、宮成 康蔵（県スポーツ協会事務局長）  
監事区分、穴井 哲也（税理士）

続いて評議員区分です。

大石 祥一（大分県フェンシング協会副会長）  
米津 康広（県軟式野球連盟副理事長兼事務局長）  
今村 泰三（県バスケットボール協会専務理事）  
伊東 進（県ゴルフ協会総務部長）  
八坂 一範（大分市スポーツ協会事務局長）

評議員区分についてですが、令和元年度の評議委員会において決定した、「競技団体ローテーション表により委員を推薦するもの。」としております。今回のローテーションは、A区分が軟式野球、B区分がバスケットボール、C区分がゴルフ、E区分がフェンシングとなっていることを申し添えます。残り評議員区分1枠につきましては、地域スポーツ団体より、会議開催時の参集等を考慮し、これまで同様、大分市スポーツ協会の評議員を選出することを御提案いたします。御審議の程、よろしく申し上げます。

《八坂議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《八坂議長が、上記のことについて承認を議場に諮った》

《全会一致で承認された》

- 6 閉会のことば  
押田総務部長が閉会のことばを述べた。

令和5年5月31日

議長 八坂 一範